

活動報告

団体名	RQ小泉ボランティアセンター
活動名	長野市における台風19号災害からの復旧復興支援の為の活動
活動期間	2019/10/15~2020/3/31
活動の成果	<p>今回の活動を行うにあたり、いくつかの目標を設定した。一つは応援含む社協職員及びVCスタッフへの災害VCの運営手法の伝達。被災状況の把握からニーズ調査、受付、優先順位のつけ方、ボランティア受付からマッチング、必要資機材の選定から使い方、送り出し、活動報告時の注意点等VC運営全般にわたる内容をこれまでの経験によって得られた事を伝える事。最初こそ戸惑いやマッチングにおいて迷い、ボラ受付等での声掛け声出しに恥ずかしさ等は見られたものの直ぐに慣れ滞り無く出来るようになった。</p> <p>二つ目に、水害において必ず起こる家屋内のカビ対策や床下の泥だし、家屋内外の消毒作業についての技法の伝授。ニーズの調査把握から、作業が必要かどうかの現地調査のやり方やその見極め方。実際に作業を行うにあたっての注意点、必要資機材の選定、名称、使い方、作業の進め方、床板剥がしが必要な場合のやり方、安全管理等を社協職員及びスタッフのみならず、ボランティア参加者の中から興味を持った方まで伝授し、出来ればボランティア参加者で専門チームを作り、特に近隣地域からのボラ参加者で今後の為のチームを作り自分たちが撤退した後も彼らに作業を任せられるようにする。資機材の選定や薬品を使用することからその習得には戸惑いも見えたが、最終的には市社協職員の中に、ニーズの把握、作業が必要かの有無を判断やそのための現地調査、必要となった時の工程の説明や不要となった時には、被災された方が安心感を持てる説明等を完全に任せられる人材も生まれた。</p> <p>三つ目に、地域の方々に共助の意識を持って戴きお互いに助けあえるようになって貰う事と、自分たちでも出来る簡単な復旧作業を伝授すること。カビ対策等や床下の乾燥促進させるやり方等。元々当団体の支援者に長野県内及び市内の寺院関係者が多くいたこともあり、それぞれのお寺の檀家さんのネットワークを活用し進めることができた。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>今回皆様からの暖かいご支援を賜ることが出来、支援活動を円滑に進めていくことができました。被災地の少しでも早い復旧復興の一助となれるよう、被災された方々の復興や安心感を得るためのお手伝いが出来ますよう活動を行ってまいりました。現在は新型コロナウイルスの蔓延により、作業等がストップしており歯痒くもどかしい状況ではありますが、近い将来きっとまた作業等を再開し被災地のお手伝いが出来ると信じ、粛々と来る日に向けて準備をしております。この度は暖かいご支援を本当にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

